

愛媛県の地震

2025 年 6 月

目 次

- 1. 愛媛県周辺の震央分布図1
- 2. 地震概況1
- 3. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震.....2
- 4. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図.....2～3
- 5. 地震一口メモ 「火山防災の日」について.....4

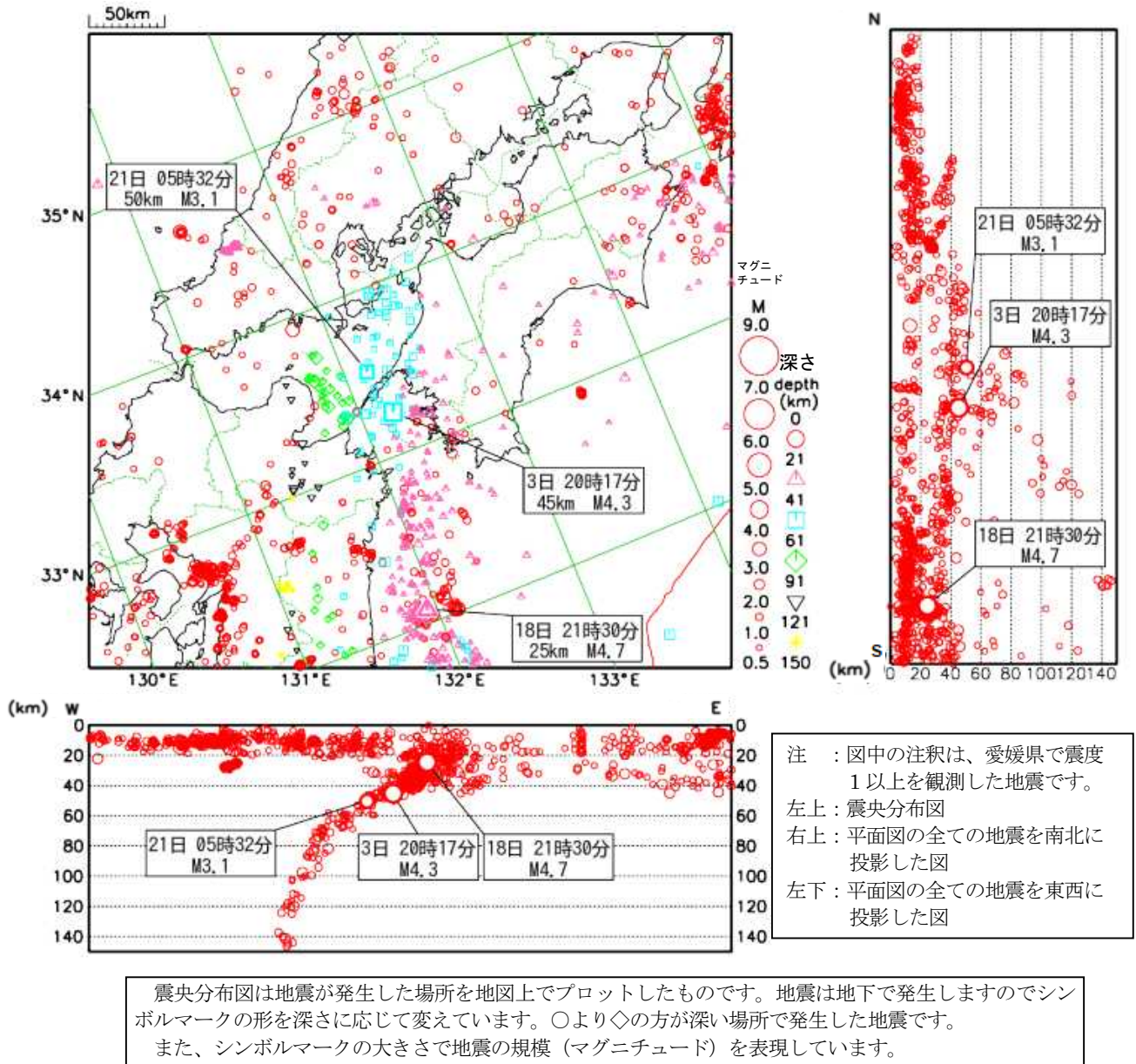
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2025 年 6 月 1 日～6 月 30 日]



2. 地震概況

2025 年 6 月に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 79 回（先月は 64 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回（先月は 1 回）でした。

3 日 20 時 17 分 豊後水道の地震（深さ 45km、M4.3）により、愛媛県伊方町で震度 3 を観測しました。そのほか、中国・四国・九州地方で震度 2～1 を観測しました。

18 日 21 時 30 分 日向灘の地震（深さ 25km、M4.7）により、愛媛県宇和島市・愛南町で震度 1 を観測しました。そのほか、大分県、鹿児島県で震度 2 を観測し、四国・九州地方で震度 1 を観測しました。

21 日 05 時 32 分 伊予灘の地震（深さ 50km、M3.1）により、愛媛県八幡浜市・伊方町・西予市で震度 1 を観測しました。

29 日 09 時 59 分 島根県東部の地震（震央分布図範囲外：深さ 10km、M4.1）により、愛媛県今治市で震度 1 を観測しました。そのほか、鳥取県、島根県で震度 3 を観測し、中国・四国地方で震度 2～1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震

注：＊印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

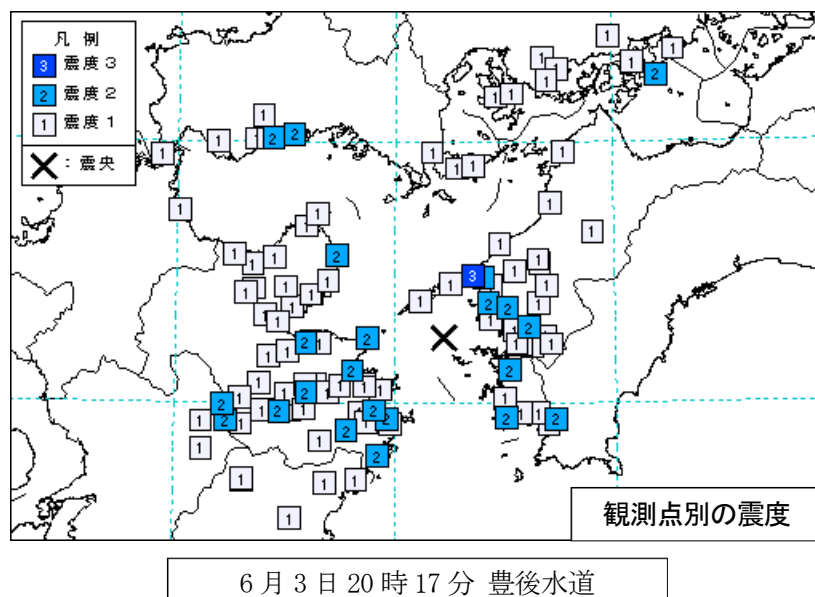
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2025 年 06 月 03 日 20 時 17 分	豊後水道	33 ° 15.0' N	132 ° 13.5' E	45km	M4.3	3
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 3：伊方町湊浦＊					
	震度 2：上島町弓削＊,宇和島市津島町＊,宇和島市三間町＊,八幡浜市保内町＊ 西予市宇和町＊,西予市三瓶町＊,愛南町船越＊					
	震度 1：松山市北条辻＊,伊予市下吾川＊,久万高原町久万＊,宇和島市住吉町,宇和島市丸穂＊ 宇和島市吉田町＊,八幡浜市五反田＊,大洲市肱川町＊,大洲市長浜＊,大洲市大洲＊ 内子町内子＊,内子町平岡＊,伊方町三崎＊,伊方町三机＊,松野町松丸＊ 西予市野村町,西予市明浜町＊,愛南町柏＊,愛南町御荘＊,愛南町一本松＊ 愛南町城辺＊,愛媛鬼北町成川,愛媛鬼北町近永＊					

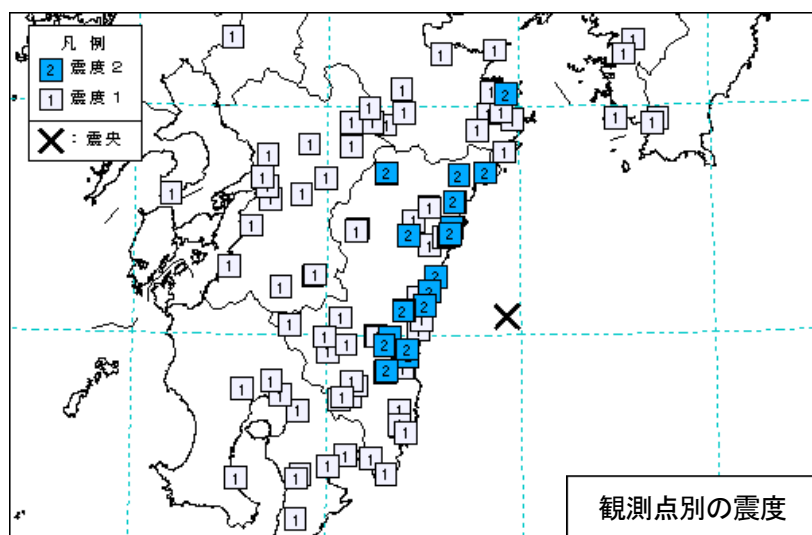
2025 年 06 月 18 日 21 時 30 分	日向灘	32 ° 04.8' N	131 ° 55.8' E	25km	M4.7	2
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：宇和島市住吉町,宇和島市三間町＊,愛南町船越＊					

2025 年 06 月 21 日 05 時 32 分	伊予灘	33 ° 31.8' N	132 ° 09.5' E	50km	M3.1	1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：八幡浜市五反田＊,伊方町湊浦＊,西予市三瓶町＊					

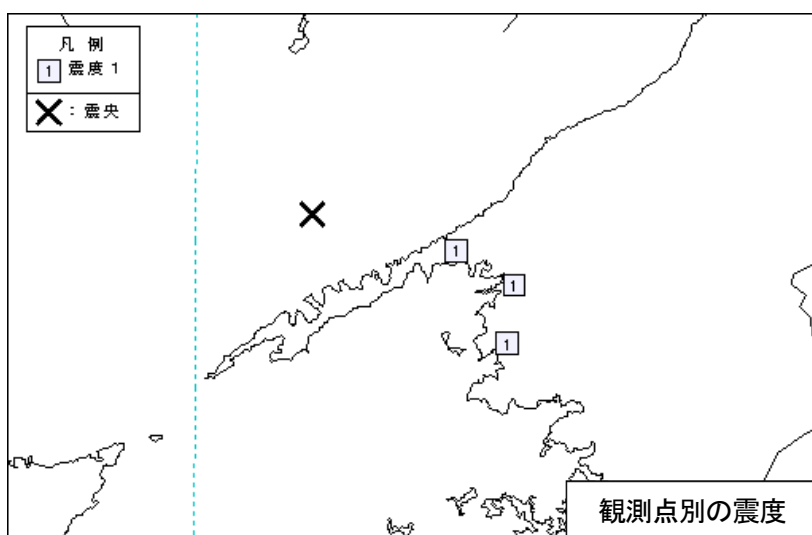
2025 年 06 月 29 日 09 時 59 分	島根県東部	35 ° 20.8' N	133 ° 16.4' E	10km	M4.1	3
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：今治市吉海町＊					

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図

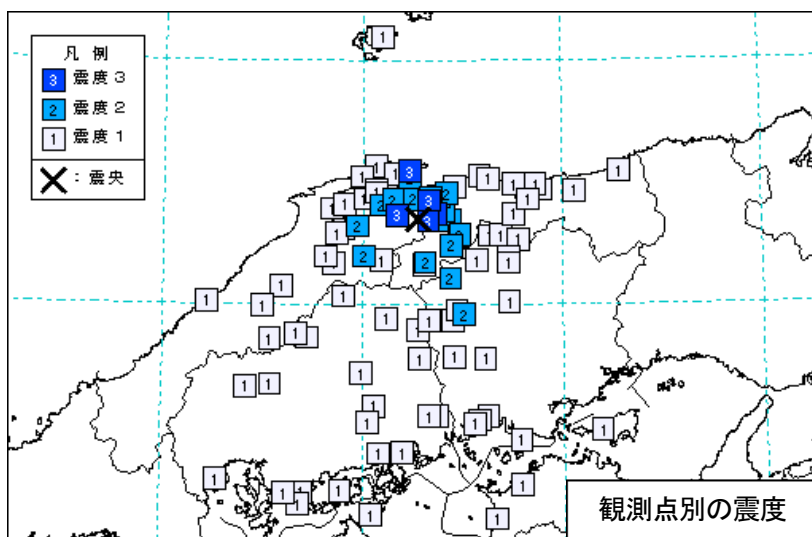




6月18日 21時30分 日向灘



6月21日 5時32分 伊予灘



6月29日 9時59分 島根県東部

5. 地震一口メモ

「火山防災の日」について

8月26日は「火山防災の日」です。活動火山対策についての理解を深め、日頃からの火山災害への備えについて考えてみましょう。

近年、富士山の市街地近くで新たな火口が発見されたこと等による想定される火口の範囲の拡大や、桜島で大規模噴火の可能性が指摘されたことなど、日本全国で火山活動が活発化した際の備えが急務となっています。

このような状況に鑑み、令和6年4月に「活動火山対策特別措置法の一部を改正する法律」（令和5年法律第60号）が施行され、その中で、新たに8月26日を「火山防災の日」と定め、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるようにすることとされました。

この日が「火山防災の日」とされたのは、明治44年8月26日に、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、器械を用いた近代的な観測がはじまったことにちなんだものです。浅間山では、明治42年（1909年）から顕著な噴火が相次いで発生するようになり、浅間山麓の住民は天明3年（1783年）に発生した天明噴火のような災害の再来を恐れ、浅間山の活動に対する関心が高まっていました。このため、長野県知事が文部省の震災予防調査会に対して浅間山の調査を依頼し、明治44年（1911年）8月26日に浅間山の西南西山腹（通称、湯の平）に我が国最初の火山観測所である「浅間火山観測所」が長野県予算によって建設され、震災予防調査会と長野県立長野測候所の共同により、日本で最初の近代的な火山観測が始まりました。ここに、日本の火山防災が誕生したのです。

昨年の「火山防災の日」には、各地でポスターの掲示や噴火のおそれが高まったという想定した救助訓練が実施されました。



霧島山



桜島



薩摩硫黄島

「火山防災の日」ポスター
(引用：内閣府「火山防災の日」ポスター)



気象庁 HP 「火山防災の日」特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>

